

戦略的イノベーション創造プログラム（S I P）の 対象課題の追加について

1. 経緯

- **科学技術イノベーション総合戦略**において経済・社会的課題の解決に向けた重要な取組を策定。
- この過程での議論も踏まえ、S I Pガバニングボードにおいて、**社会や産業界のニーズ**、国内外の将来の**市場・雇用の規模**、**府省連携の必要性**等の観点から、S I P新規課題として取り組むべきものを検討。

2. 対象課題候補

- この結果、以下の課題候補を選定。

課題名：**重要インフラ等におけるサイバーセキュリティの確保**

概要等：総合的・共通（横断）的に重要インフラのサイバーセキュリティを確保する技術やシステム等を構築し、**重要インフラ各分野におけるセキュリティレベルの底上げ及び並列化を図ることで、重要インフラ・産業の安定的な運用を確保するとともに、オリンピック・パラリンピック東京大会の安定的運営に貢献する。**また、**安心・安全なIoTシステムの国際標準化等による国際展開や第三者認証制度の確立等**を通じ、国際競争力の強化、経済成長の実現を図る。


重要インフラ等におけるサイバーセキュリティの確保（イメージ）

背景




研究開発


今後の社会・経済を支えるセキュリティ技術の研究・開発を促進

 **バックドア**
解析・検知


システム／機器の改ざんを早期に検知すべく、ログ検知技術の確立や装置の動作情報を把握・分析

 **暗号技術**

高信頼な暗号の実装を実現する通信プロトコル及び高速チップを開発、重要インフラ・産業における実装

 **セキュリティ**
評価・認証制度

チップ等のハードウェア、制御機器、システムのセキュリティを認証・検証・評価する枠組みの拡大、手法の策定及び国際標準化

 **共通プラットフォーム**

分野横断的に重要インフラ・産業のセキュリティを統合・管理するための共通基盤構築

展開先

NISCや重要インフラ所管省庁等が連携し、事業成果を政府統一基準や評価・認証制度に組み込むことで、重要インフラ・産業に展開

成果



信頼性の高い技術・システムによる重要インフラ・産業の安定的運用

世界をリードするセキュアなIoT機器・サービス等を通じた経済成長

2020オリパラの安全な開催と研究成果のレガシーとしての発展・継続

3. 今後の予定

- プログラムディレクター（PD）の人選
※産官学のプロジェクトマネジメント経験の
豊富な人材を積極的に活用
・・・ 6月中旬～

- 研究計画、出口戦略等の具体化、事前評価
・・・ ～9月

- 課題、PD、配分額の決定（本会議）
・・・ 10月